

今次署名8案件（概要）

1. ダナン市ホアヴァン郡枯葉剤被害児・障害児センター車両整備計画
2. クアンチ総合病院小児科医療機材整備計画
3. タイグエン省フォンティエン村小学校校舎建設計画
4. ナムディン省スアンニン村小学校校舎建設計画
5. ホアビン省ビンチャン村医療センター拡張計画
6. ゲアン省ギーミ村小学校校舎建設計画
7. クアンガイ省ソンマウ村道路整備計画
8. クアンビン省におけるコミュニティ開発のための人道的不発弾除去計画

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ダナン市ホアヴァン郡枯葉剤被害児・障害児センター車両整備計画」

1. 案件概要

- (1) ダナン市の枯葉剤被害児・障害児センターに対して、送迎用ミニバス1台(定員29名)を整備する。
- (2) 本案件の実施により、枯葉剤被害児、その他障害児及び同センターの職員の安全かつ安定的な通所及び安全な外出を保証し、外部イベントへの参加等を通じて、障害児理解や社会参加の機会拡大を後押しすることが可能になる。



2. 対象地域と現状

- (1) ダナン市
- (2) ベトナム戦争時に散布された枯葉剤による被害は第3, 第4世代にまで及んでおり、ダナン市における枯葉剤の被害を受けた障害児・者は約5,000人いるとみられている(ダナン市労働傷病兵社会局調べ)。
- (3) ベトナム枯葉剤被害者協会(VAVA)ダナン支部が運営しているホアヴァン郡枯葉剤被害児・障害児センターは、ダナン市中心部から30km離れた郊外に位置。6歳から40歳までの約70名の障害児・者が登録し、一日約40名が通所利用している(利用者の多くは、軽・中度の知的障害・ダウン症、聴覚障害者)。
- (4) 通所者の送迎は本件施設が保有する2000年にユニセフから供与されたハイエース(9席)1台のみで実施。同車両は老朽化が著しいほか、収容人数をはるかに超えており、安全面での支障をきたしている。なお、送迎サービスが行われなくなると、殆どの通所者が本件施設を利用できなくなることから、車両の配備が急務となっている。



すし詰め状態の現在保有するハイエースの車内

3. 供与金額 56,793米ドル
4. 実施団体 ダナン枯葉剤被害者協会(DAVA)

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「クアンチ総合病院小児科医療機材整備計画」

1. 案件概要

- (1) クアンチ総合病院の小児科・新生児集中治療室に対し、多機能人口呼吸器、呼吸補助具、SP02測定器、輸液ポンプを整備する。
- (2) 本事業の実施により、心臓の先天性疾患や酸素不足の早期診断につながり、脳のダメージ回避や重症肺炎・呼吸不全・新生児感染症・壊死性腸炎等の治療を行うことができ、新生児死亡率が減少する。本案件を実施することにより、クアンチ省及びその周辺で、クアンチ総合病院で治療を受ける、重症新生児約600名（年間）が裨益する。



2. 対象地域と現状

- (1) クアンチ省ドンハー市
- (2) クアンチ総合病院は同省内最大規模の医療機関であり、特に新生児医療に関しては省内唯一の医療機関。2017年のクアンチ省における重症新生児の出生数は734人であり、同病院はその約8割となる588人を受け入れており、新生児の死亡率は2.1%と全国平均の1.3%を上回っている。クアンチ総合病院では人工呼吸器等の医療器具の不足を理由に、月平均10人弱が70キロ以上離れたフエ市の病院に搬送されており、搬送中（約1時間半）に命を落とすケースも少なくない。



治療中の新生児

3. 供与金額 83,043米ドル
4. 実施団体 クアンチ総合病院

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「タイグエン省フォンティエン村小学校校舎建設計画」

1. 案件概要

- (1) 教室不足のため、一部の児童が2シフト制を強いられている
フォンティエン小学校に対し、校舎一棟（平屋建て4教室、
約282㎡）を建設し、初等教育の質を向上させる。
- (2) 本事業を通じた新校舎の整備により、必要な教室数が確保され、
全ての児童が全日の授業を受けることが可能となる。



2. 対象地域と現状

- (1) タイグエン省ディンホア郡フォンティエン村
（人口約4.1千人）
- (2) フォンティエン小学校は同村にある3つの小学校の本校であり、1学年から5学年までの児童計154名及び教員15名（うち6名が専門教科担当員）が在籍。現在、限られたスペースをやり繰りして、なんとか8教室を確保しているが、クラスに比して教室数が不足しているため、一部の児童は2シフト制を強いられている。



1996年に建設された校舎

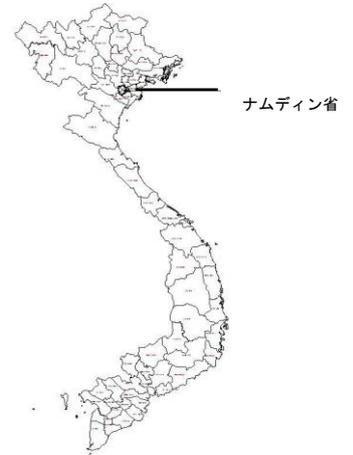
3. 供与金額 79,916米ドル

4. 実施団体 フォンティエン村人民委員会

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ナムディン省スアンニン村小学校校舎建設計画」

1. 案件概要

教室不足のため、一部の児童が2シフト制を強いられているスアンニン小学校に対し、校舎一棟（平屋建て5教室，約376.6㎡）を建設し，初等教育の質を向上させる。



2. 対象地域と現状

(1) ナムディン省スアンツルン郡スアンニン村
(人口約1.7万人)

(2) スアンニン村小学校は同村にある唯一の小学校で，1学年から5学年までの児童計462名及び教員26名が在籍。教室数の不足により，全14クラスのうち10クラスもが教育訓練省が規定する全日制の授業を行えず，半日の授業とせざるを得ない状況にある。



同校に唯一ある校舎の教室内

3. 供与金額 85,551米ドル

4. 実施団体 スアンニン村人民委員会

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ホアビン省ビンチャン村医療センター拡張計画」

1. 案件概要

- (1) ビンチャン村の医療環境を改善するために、新たに診療棟1棟（1階建て、11室及びトイレ1基、357.4㎡）を建設する。
- (2) 本案件の実施により、ビンチャン村に住む約3.5千人の住民が、安全かつ衛生的な医療サービスにアクセスすることができる。



2. 対象地域と現状

- (1) ホアビン省ラクソン郡ビンチャン村（人口約3.5千人）
- (2) ビンチャン村医療センターは、2018年2月に同村を突如襲った竜巻により甚大な被害を受け、現在使用できない状況である。このため、臨時的に同村幼稚園分校の園舎を借りて診療を行っているが、スペースが限られているため、患者のプライバシーを守り、衛生的な環境で医療サービスを提供する上で支障をきたしている。



旧ビンチャン村医療センター（竜巻の被害に遭い現在使用不可）

- 3. 供与金額 87,239米ドル
- 4. 実施団体 ビンチャン村人民委員会

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ゲアン省ギーミ村小学校校舎建設計画」



1. 案件概要

地域の児童に安全で衛生的な学習環境を提供するため、以下を整備する。

- (1) 老朽化した建物に代わる校舎1棟(平屋建て4教室、約329㎡)の建設
- (2) 教室内設備(児童用机・椅子60セット、教員用机・椅子セット、黒板4枚)の整備

2. 対象地域と現状

- (1) ゲアン省ギーロック郡ギーミ村
(人口約4.1千人)
- (2) 現在、校舎として使っている建物のうち1棟は、修繕を繰り返しながら既に20年近く使用しており、窓の一部損壊や、壁の雨水による腐食等、安全面・衛生面で問題が生じている。また、教室内設備も十分に整っておらず、同校は不足している教員用及び児童用椅子の一部をプラスチックの椅子で代用するなどして、対応している。



赤いプラスチックの椅子で代用されている児童用椅子

3. 供与金額 83,375米ドル

4. 実施団体 ゲアン省越日友好協会

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「クアンガイ省ソンマウ村道路整備計画」

1. 案件概要

ソンマウ村アーパン集落の住民の安全な通行を確保するため、アーゲ集落とアーパン集落間の道路（全長 694.76m, 道幅 3.5m, カルバート2箇所, 車両重量 2.5 トンまで可）を整備する。



2. 対象地域と現状

- (1) クアンガイ省ソントイ郡ソンマウ村アーゲ集落及びアーパン集落（人口計約 332 人）
- (2) アーパン集落を同村中心部へと続く道路の始点であるアーゲ集落とつなぐ道路は 1 本だけあるが、同道路は未舗装で、一部は大粒の石で埋め尽くされており、残りは土がむき出しの状態であるため、車両は一切通行できない。また、雨季には過度のぬかるみや水溜りの発生及び石が滑りやすくなるため道は封鎖され、住民は最大で5ヶ月間も集落外に出向くすべをなくすこともある。



大粒の石で埋め尽くされている道路の一部

3. 供与金額 76, 193米ドル

4. 実施団体 ソントイ郡人民委員会

平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「クアンビン省におけるコミュニティ開発のための人道的不発弾除去計画」

1. 案件概要

- (1) クアンビン省ボーチャック郡及びクアンニン郡で不発弾・地雷の除去活動を実施する。
- (2) 本案件の実施により、ボーチャック郡及びクアンニン郡の土地約 2,289,000m² で不発弾・地雷の除去が行われ、対象地域の住民約 3.8 千人の生命の脅威が軽減するほか、汚染された土地が経済的・社会的に利用可能な土地に転換される。



2. 対象地域と現状

- (1) クアンビン省
(裨益人口約 3.8 千人)
- (2) クアンビン省では、ベトナム戦争以来の不発弾・地雷により、2014 年 1 月から 2018 年 3 月までの間に最低 17 名の子供を含む死傷者が出ており、戦争の終結から 40 年経った現在においても爆発物の脅威は残存している。また、省土の約 28%には依然として爆発物が埋没しており、同省の経済・社会発展を妨げている。



不発弾・地雷除去活動の様子

3. 供与金額

624,997米ドル

4. 実施団体

マインズ・アドバイザーズ・グループ・ベトナム